

“引きこもり”の若者にしないために

来年度の公立高校選抜の実施方針も公表され、中3生徒はいよいよめざす進路に向けて具体的に動き出す時期となりました。

そうした中で、学校生活に適応できず、また学校との繋がりをも絶ってしまっているような状況の生徒（家庭）もあるようです。原因は様々でしょうが、なんとか将来に明るい希望のもてる進路選択をしてほしいと願っています。

中学校在籍中であれば、担任が何度も家庭に足を運び、親身になって相談をします。しかし、卒業した場合は所属がなくなり、基本的にかかわる組織（人）もなくなります。所属先がなくなった若者は、社会との繋がりが途絶え、引きこもり状態になることが多くあるようです。

社会との繋がりをもてない“引きこもり”は本人だけでなく、家族（親御さん）にとっても辛く悩みは深刻です。いざ、学び直そうと思っても「どのような手続きをとったらいいかわからない」「高校に進みたいが学力が心配で、どうしたらいいかわからない」「アルバイトをしたいがどこに相談したらいいかわからない」など。悩みだけが先行し、行動に移せず苦しんでいる若者も少なからずいるものと思います。（古いデータで恐縮ですが、新庄市で“引きこもり”を抱える世帯は推計で約65～90世帯。“ニート・若年無業者”は推計で約165人前後です。2013年の新庄市青少年健全育成会議から）

義務教育段階の子ども対象の当相談室ですが、今後学び直しを考えている中卒生がいれば、何とか支援ができないだろうかと検討しているところです。将来のある若者が“引きこもり”にならず、社会で自立（経済的・精神的・日常生活）していけるように僅かですがお手伝いできるかもしれません。また、市役所・社会教育課内の最上広域青少年指導センターには“若者社会参加支援相談員”もおりますのでご活用ください。いろんな人生があります。取り返しのきかない人生などないのですから。



～ いつも待っています その第1歩 ～ シャイニングクラス（適応指導教室）

これまで女子だけの通級生でクラスは進んできましたが、10月末新たに男子生徒1人が仲間として加わってくれました。お陰で違ったいい刺激の空気が漂っている感じがします。

朝はまだまだ緊張感があります。そして、8時半少し過ぎ、電話のベルやメールの音が鳴ると「今日は誰か休むのかな、遅れるのかな」と心の中で不安になります。きっと保護者の方々も、毎日毎日、今日は行けるかなと気になる生活が続いていることでしょう。まして学校に行けなかったり、行かないことを選択したりしている小中学生は日々考えたり、悩んだり、時には自己嫌悪に陥ったりしているのでないかと心配になります。順調に通学している保護者や生徒たちが考える以上に、1歩を踏み出すのにきっと多くの月日とエネルギーの蓄積が必要なのだと思います。

3年生はいよいよ進路選択も迫ってきており、精神的にも厳しい時期に入ってきました。実力テストや定期テストも大いに気になるところです。週1教科60分の当クラスの授業ではなかなか学校の学習進度に追いつかず、焦りをあらわにする生徒もいます。在籍している子どもたちが定時に顔を見せ、アイドル達の話に熱中し、学習課題に真剣に取り組んでいる様子を見るとき、とても幸せな気持ちになります。学習は学年毎（2グループ）だったり、進度に合わせ個別（3パターン）指導にしたり柔軟な対応を心がけています。



社会科学習の様子（11/18）

なかなか学校に足が向かない生徒や通級までにいたっていない人達について考えが及ぶとき、途端に、「どうしたらいいものか」と思考が進まなくなります。まだ、考え中の皆さん、1歩踏み出してみたいかがでしょうか。その1つの方法がシャイニングクラスへの通級です。一緒に考え、学ぼうではありませんか。ゆっくりでも、1歩1歩。

「最後の作物 ダイコンを収穫しました」



8月末の体験活動でまいた種は立派なダイコンに生長しました。9月末に1度間引きをし土寄せをしたきりなのに、よくもここまで育ったものです。そして、今日はいよいよ収穫・販売日です。比較的暖かく好天に恵まれたことも、ほんとにラッキーです。

途中経過を目にしていない5人の通級生はびっくりで、やや興奮気味でした。「オー。」「すごーい！」などと喜びながら、大きく伸びたダイコンの葉をつかみ土から次々と引き抜き、畝に並べていきます。瑞々しくスラリとしたものが多い中、生長途中のものや、2つに分れているものもありましたが、2畝あったダイコンはたちまち収穫されました。なんと驚いたことは、前の収穫の際に見落とされ掘り出されることを待っていたかのような、色鮮やかで大きいサツマイモが2本も出てきたことです。突然の副産物に見つけた生徒はもちろん、皆大喜びでした。その後ダイコンの葉を切り落とし近くの水場で土を落とし、昼休み中の販売に備えました。

さて、いよいよ販売作業です。“苦手”としながらも、どっさり入って重いコンテナを抱え、庁舎内を慣れた(?)雰囲気でも回りまわりました。3回目の販売でもありお得意さんもでき、大特価のダイコンは生徒たちの手によって間もなく完売しました。

4時間程の肉体労働後の通級生の反省は、「カエルは大の苦手です。スーパーのよりも新鮮！家でダイコン料理を食べるのが楽しみ！すぐ売れてうれしかった。ここまで疲れるとは・・・。」など。

数日後、買ってくださった方々からの「すごくおいしかった。」という声を生徒たちに伝えたところ、大きな頷きが返ってきました。



収穫したダイコンを販売し、購入してもらいました。(11/5)



11月の活動 シャイニングクラス在籍 6名

< シャイニングクラスの学習 >

- 月曜日 数学、国語 ○ 水曜日 社会、英語
- 金曜日 理科、体育 ○ 木曜日 体験活動(月2回)

◆ 体験活動⑭ 11月5日(木)

「ダイコンの収穫・販売」

◆ 体験活動⑮ 11月26日(木)

「キャリア教育Ⅲ」

～ボランティア活動で地域創生を

目指す大人に学ぶ・新庄南高金山校見学～



ダイコンの販売(11/5)

あ と が き

市民プラザで開催された新庄市教育の日「コスモスデー」は悪天候でしたが、多くの市民が集い保育園児・小学生・中学生、そして高校生が一生懸命に学び、考え、輝いている姿を参観しました。

ステージ発表では、今年度県内初の小中一貫教育校として開校した萩野学園の紹介があり、参加者の多くが関心を示していました。生徒会長・副会長がはきはきした言葉で、開校7カ月の新校舎での生活の様子や前中後期3ブロックの学級編制であること、中期ブロックから教科担任制が導入されていること、教科教室制が実施されていること等紹介していました。また、運動会や学園祭の様子は微笑ましく、9年間の関わりの中で萩野の子どもを育てようとしている学校の思いを感じました。

11/4(土)の教育の日では、家庭・地域・学校が連携し、市民が一丸となって時代を担う子どもたちの成長を見守っているということを確認しました。

教育相談連絡先

- ダイアルなんでも相談
TEL 23-7266
- 適応指導教室(シャイニング)
TEL 22-2111
(内線 445、448)
林、小野、鈴木が担当です。